



クニオカ工業株式会社様による一般駐車場整地

4月22日、クニオカ工業株式会社様（弟子屈町）において、鶴居南3丁目（セイコーマート鶴居店横）で役場が管理している一般駐車場の整地をしていただきました。

現在、駐車場の一角を工事現場事務所として、クニオカ工業株式会社様に貸付をしており、地域貢献活動の一環として、全体をタイヤローダーでならして砂利を敷いていただきました。

整地により駐車場の利便性が向上し、快適に利用できるようになりました。この度の地域貢献に深く感謝申し上げます。

ふるさと納税アドバイザーの就任

地方創生を推進する複業マッチングフォーム「複業クラウド for public」を展開する株式会社Aoter worksと鶴居村は、民間で培った地検や才能、実勢等を保有する者を本村で登用し、お互いが持つ環境や資源、特徴を活かしながら官民連携を推進する取組みとして、本村のふるさと納税を支援していただく人材となる「ふるさと納税アドバイザー」に都内でECコンサルタント等で活躍される小笠原由多さん、笹藪今日子さん、2名の方に就任していただきました。

今後の活躍に期待しています。



株式会社佐々木建設様より寄附金の贈呈

5月8日、村内企業の株式会社佐々木建設様より現金100万円の寄附をいただきました。

本村では、鶴居村子どもセンターや鶴居村新総合体育館ファミスポアップなどの村有施設の建設や、役場庁舎機能改善建築主体工事の他、各種村道の整備を請け負っていただき、鶴居村に多大な貢献をしていただいております。

いただいた寄附はふるさと創生中学生派遣事業に充てられます。この度のご厚意に深く感謝申し上げます。

美しい村＝鶴居村！ 「ポイ捨てシャットアウト」村民一斉清掃

5月11日、美しい村づくりの取組みとして「ポイ捨てシャットアウト」村民一斉清掃が実施されました。

春になると雪解けとともに、ポイ捨てゴミや、かげに隠れるように不法投棄された多くのゴミが姿を現します。例年、これからの行楽シーズンに向け、美しい村の景観を保つために村内の観光名所等で行われています。

清掃は鶴居市街地及び人や車の往来が多い道道54号沿いや村内各地で行われ、参加者は火ばさみやゴミ袋を片手に村のより一層の美化に努めました。



冬のタンチョウに関わる村の活動報告会



4月24日と25日に教育委員会の主催で、昨冬に村が取り組んだタンチョウに関わる活動について、その内容や結果を報告する会を開催し、住民を中心に延べ25名にご参加いただきました。

雪裡川周辺で行われたねぐら調査では、500羽を超えるタンチョウが利用していたことや、日中でも多くのタンチョウが不凍水域を利用していたこと等、9つの活動について報告しました。また、鶴見台での来訪者対応の活動に参加した住民からは、ゆっくりとタンチョウを観察しながら観光客と楽しい時間を過ごすことができたといった声が聞かれました。このような報告会を通じて、住民のみなさんにタンチョウへの興味関心を深めてもらえればと思います。



タンチョウのえさづくり活動はじまる

幌呂小学校と下幌呂小学校では、毎年全校児童でタンチョウの冬の給餌用のえさにするデントコーンを作る活動を行っています。えさづくりを通じて、タンチョウや保護活動に興味関心を持ってもらうねらいがあります。この活動の最初の作業となる種まき活動が、両校とも5月15日に行われました。

活動にあたっては、地区の農家さんのご厚意により敷地の一部をお借りし、畑起こしから整地作業までお膳立ていただいています。子どもたちは、きれいに整地された畑に畝を切り、肥料と種をまいた後、寒さに負けないよう不織布で覆う作業に汗を流しました。高学年が低学年の様子を見ながら優しく教えている姿が印象的でした。6月の草取り作業を経て、9月にコーンを収穫し、しっかり乾燥させてからつぶ状にほぐしてえさの完成です。今年は何れくらいのえさができあがるのか、今から楽しみです。

